

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は12月5日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「牛乳類はいずれも前年割れ、ヨーグルトは全品目で好調」

・11/18週の牛乳類の販売個数は、4品目すべてのカテゴリーが前年水準を下回った。東日本や北日本の気温が平年より下がり寒い日が続いたことで、消費が押し下げられたと推察される。品目別に見ると牛乳は3週ぶり、加工乳は2週ぶり、成分調整牛乳は5週連続、乳飲料は20週連続で前年割れとなる。今後、気温の低下とともに消費が低下する季節ではあるが、引き続き需要拡大に向けた取り組みが求められる。

・はっ酵乳は、3品目すべてのカテゴリーが前年水準を上回った。3品目いずれも前年越えとなるのは3週連続となる。特に、大容量タイプは12週連続で前年水準を上回り、2週連続で2桁増を達成した。ドリンクタイプ、個食タイプはいずれも3週連続で前年水準を上回った。

・家庭用バターの販売個数は低調に推移しており、11/4週は10週ぶりに前年水準を上回ったものの11/11週以降は再び前年割れで推移している。

・政府と経済界、労働界の3者による「政労使会議」の席上、石破茂首相は来年の春闘で大幅な賃上げが行われるよう協力を求めた。物価の高止まりが続く実質賃金が低迷する中、来年の賃上げは牛乳消費に影響する可能性があり、今後の動向が注目される。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先↓

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>  
 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009gbz.html>

10月2日に「改訂版・戦略ビジョン」を策定・公表しました  
 資料ダウンロードは下記URLより <https://www.j-milk.jp/news/strategicvision202410.html>

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(11/18週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：99.6%、成分調整牛乳：95.0%、加工乳：98.4%、乳飲料：92.1%。

牛乳類トータルでは同98.1%

※参考：2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は91.2%。

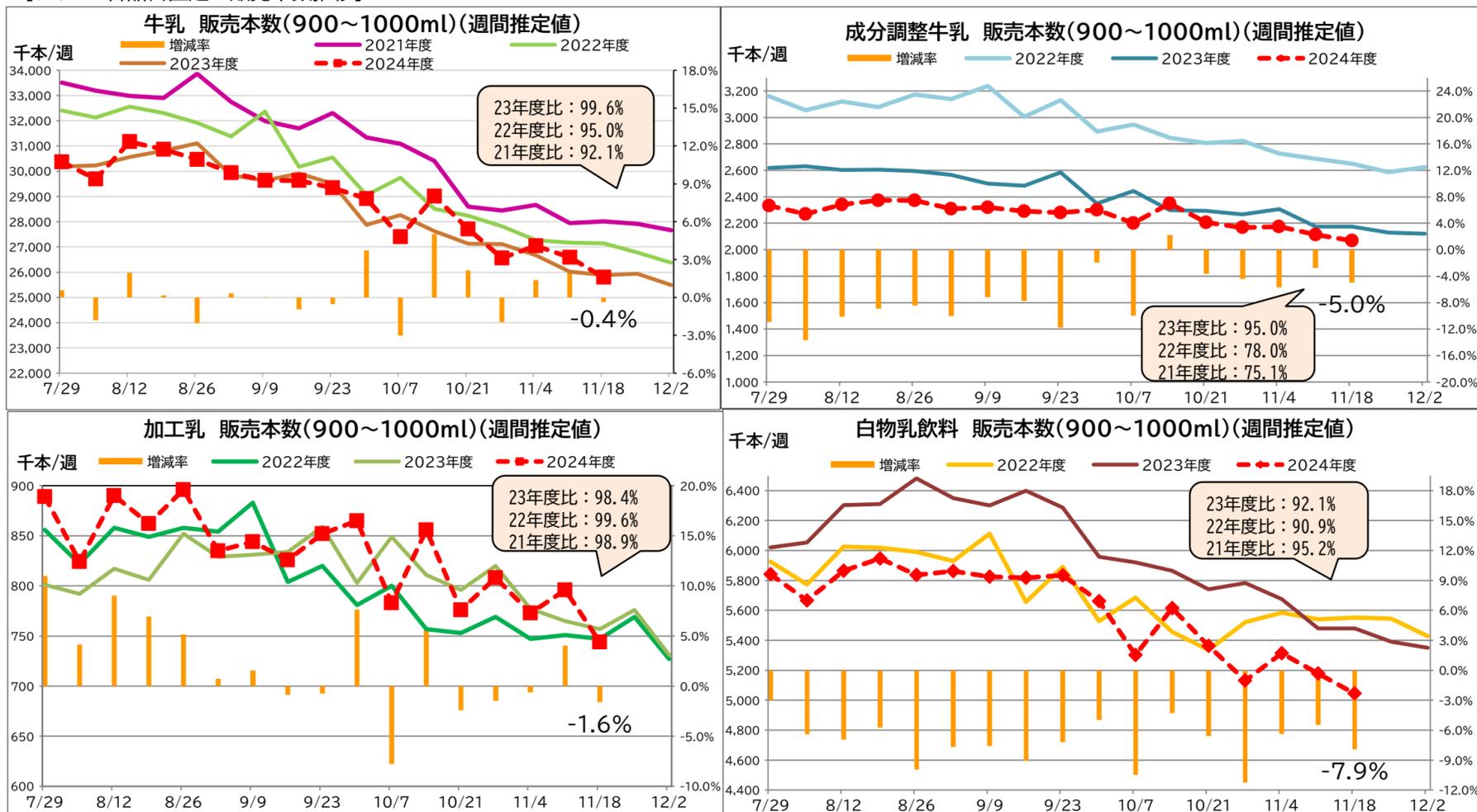
・販売単価は、牛乳：225.1円、成分調整牛乳206.3円、加工乳：218.7円、乳飲料：172.7円。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	9.30-	10.7-	10.14-	10.21-	10.28-	11.4-	11.11-	11.18-	24.11.18- 22.10.24 価格差	24.11.18- 23.3.20 価格差	24.11.18- 23.7.24 価格差
		販売個数	37,746	35,692	37,830	36,063	34,673	35,299	34,674	33,653		
トータル	販売個数前年比	102.1	95.2	103.4	100.3	96.3	99.6	100.7	98.1	32.7	17.8	15.4
	販売単価	215.7	216.3	215.7	216.1	216.1	215.8	215.6	215.9			
牛乳	販売個数	28,918	27,409	29,011	27,716	26,565	27,040	26,585	25,796			
	販売個数前年比	103.7	97.0	105.0	102.1	98.0	101.4	102.2	99.6	34.8	18.5	17.3
成分調整牛乳	販売個数	2,302	2,200	2,349	2,207	2,168	2,174	2,114	2,068			
	販売個数前年比	98.0	90.0	102.2	96.3	95.6	94.3	97.2	95.0	32.6	17.7	13.1
加工乳	販売個数	865	783	856	776	808	773	796	744			
	販売個数前年比	107.6	92.2	105.6	97.6	98.5	99.4	104.1	98.4	27.8	17.5	6.9
乳飲料	販売個数	5,661	5,301	5,614	5,363	5,132	5,313	5,179	5,044			
	販売個数前年比	95.0	89.5	95.7	93.4	88.7	93.6	94.5	92.1	23.0	13.2	8.5
	販売単価	172.7	173.8	172.6	173.2	172.7	172.7	172.5	172.7			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の動向(表②参照)

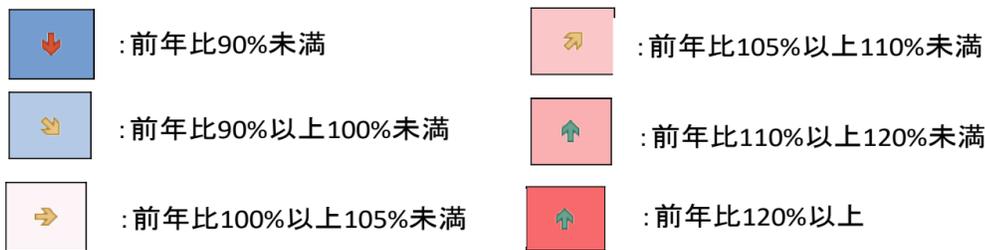
直近(11/18週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同100%以上、大容量タイプ(350~500ml):同110%以上(3品目合計前年同期比100%以上)。

(2)前週(11/11週)との比較では、3品目いずれも減少した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

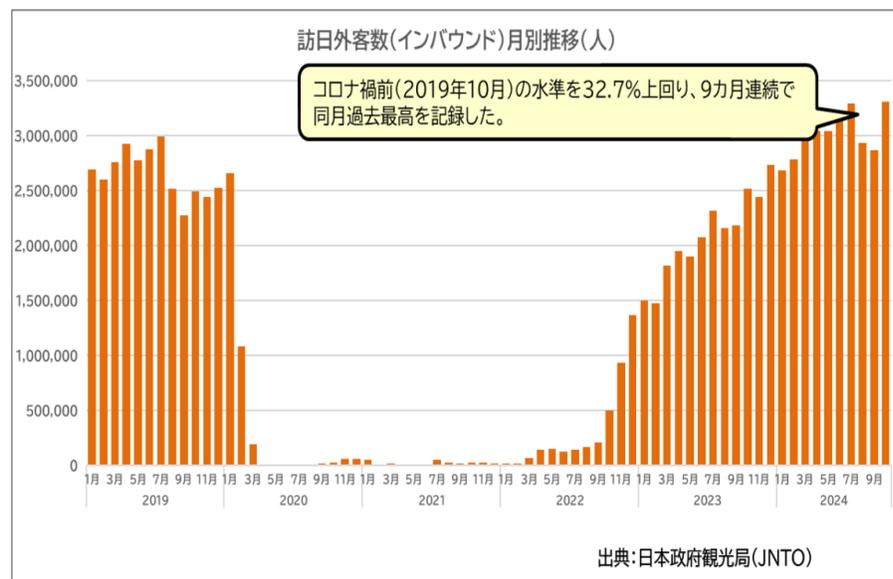
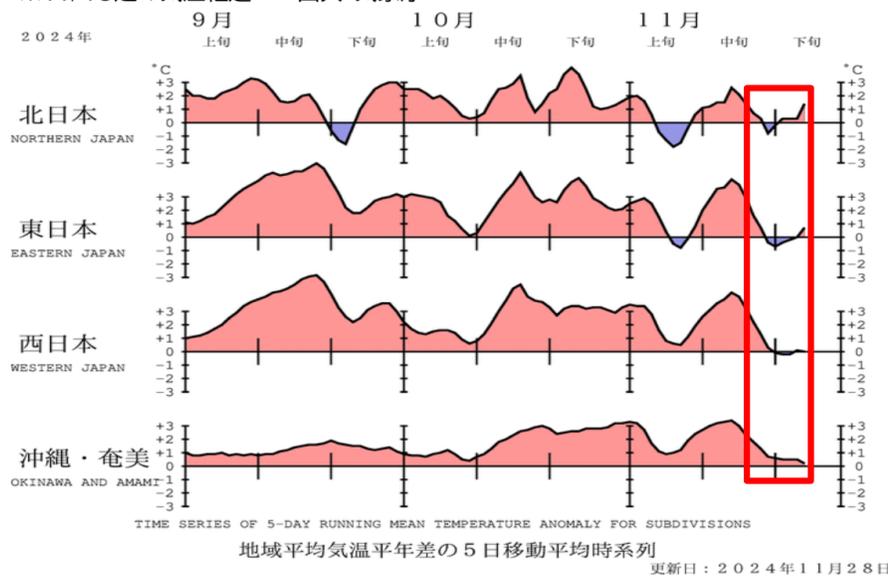
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	9.30-	10.7-	10.14-	10.21-	10.28-	11.4-	11.11-	11.18-
ドリンクタイプ	↘	→	→	→	↘	→	↗	→
個食タイプ	→	↘	→	→	↘	→	↗	→
大容量タイプ	↑	→	↑	↗	↗	↗	↑	↑



※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※11/18週の気温経過 出典:気象庁



※「2024年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」